

依頼者名: 株式会社企業農業研究所 殿

結果報告日: 2011年11月4日

測定日: 2011年11月4日

報告書番号: RIN11EB036C

試料名 : 中洞牧場 低温殺菌牛乳 10月31日(月) 朝搾乳

株式会社 同位体研究所

代表取締役 埴 章

横浜市鶴見区末広町1-1-40

横浜市産学共同研究センター内

TEL:045-718-5457 FAX:045-502-4555

検体特記事項: 試料名は依頼者記載

検体量 : 1156g

検査及び

判定法: 厚生労働省「緊急時における食品の放射線測定マニュアル」に準ずるGe γ 線スペクトロメーターによる核種測定。 サンプル調整については、文部科学省 環境試料採取法に準ずる。

分析結果: 核種検査

核種	分析対象品目分類		測定値	単位	検出限界
Iodine-131	日本	牛乳	ND	Bq/kg	1.0 Bq/kg
Caesium-134 Caesium-137	国内は、合算規制値		ND ND	Bq/kg Bq/kg	1.0 Bq/kg
放射性セシウム計	日本	牛乳	ND	Bq/kg	1.0 Bq/kg

目標定量限界 10 Bq/kg ND: Not Detected(不検出) 尚、本検査では、測定時間は20分間(検体中の核種の存在状態により定量下限は変動する)

放射能検査に関する注記:

本測定は、「緊急時モニタリング計画における食品の放射能測定・分析」に基づき、第2段階モニタリングにおける測定・分析により、放射性ヨウ素(I-131)、放射性セシウム(Cs-134, Cs-137)の放射線核種を測定する。本測定においては、定量限界に示す定量性が、多核種の存在もしくは、検体の放射性物質による汚染濃度により低下する場合がある。 試料1L以上において、検出限界値は、1 Bq/kg程度となる。

結果注釈: I-131, Cs-134, Cs-137不検出

注) 検査結果は、依頼者より提供された検体の分析結果であり、弊社は、当該検体の分析結果についてのみ、その結果を証明します。 弊社は、検体の収去に一切関与しておらず、検体以外のいかなる製品に対して、この分析結果を証明するものではありません。 本分析試験報告書を弊社の許可なく無断で転載し、使用することを禁止します。(ただし、行政機関による検査の場合を除く)



依頼者名: 株式会社企業農業研究所 殿

結果報告日: 2011年11月4日

測定日: 2011年11月4日

報告書番号: RIN11EB037C

試料名 : 中洞牧場 野シバ 10月31日(月) 採取

株式会社 同位体研究所

代表取締役 埜 章

横浜市鶴見区末広町1-1-40

横浜市産学共同研究センター内

TEL:045-718-5457 FAX:045-502-4555

検体特記事項: 試料名は依頼者記載

検体量 : 1131g

検査及び

判定法: 厚生労働省「緊急時における食品の放射線測定マニュアル」に準ずるGe γ 線スペクトロメーターによる核種測定。 サンプル調整については、文部科学省 環境試料採取法に準ずる。

分析結果: 核種検査

核種	分析対象品目分類		測定値	単位	検出限界
Iodine-131	日本	牧草	ND	Bq/kg	1.0 Bq/kg
Caesium-134	国内は、合算規制値		ND	Bq/kg	1.0 Bq/kg
Caesium-137			ND	Bq/kg	
放射性セシウム計	日本	牧草	ND	Bq/kg	1.0 Bq/kg

目標定量限界 10 Bq/kg ND: Not Detected(不検出) 尚、本検査では、測定時間は20分間(検体中の核種の存在状態により定量下限は変動する)

放射能検査に関する注記:

本測定は、「緊急時モニタリング計画における食品の放射能測定・分析」に基づき、第2段階モニタリングにおける測定・分析により、放射性ヨウ素(I-131)、放射性セシウム(Cs-134, Cs-137)の放射線核種を測定する。本測定においては、定量限界に示す定量性が、多核種の存在もしくは、検体の放射性物質による汚染濃度により低下する場合がある。 試料1L以上において、検出限界値は、1 Bq/kg程度となる。

結果注釈: I-131, Cs-134, Cs-137不検出

注) 検査結果は、依頼者より提供された検体の分析結果であり、弊社は、当該検体の分析結果についてのみ、その結果を証明します。 弊社は、検体の収去に一切関与しておらず、検体以外のいかなる製品に対して、この分析結果を証明するものではありません。 本分析試験報告書を弊社の許可なく無断で転載し、使用することを禁止します。(ただし、行政機関による検査の場合を除く)